

中央トピックス

残コン・戻りコン 発生抑制でアンケート 国交省

国土交通省は、何らかの理由によって現場で余ってしまい処理される、いわゆる残コン・戻りコンの発生抑制・有効利用に関するアンケートの調査結果を公表した。それによると、残コン・戻りコンが生じる要因として最も多かったのは「建設会社が余裕を見て生コン事業所に発注するため」で、全回答の9割を占めた。追加発注による時間ロスや人件費増、工程上の不具合の回避などが主な理由。

「技能検定」 年度内に見直し 厚生省

「人財立国・日本」の実現へ。厚生労働省の「技能検定職種等」のあり方に関する検討会(座長、八幡成美法政大学キャリアデザイン学部教授)は、検定職種の統廃合や民間活力の一層の活用などを盛り込んだ報告書をまとめた。同省は今回の報告書を受けて、18年度内に技能検定の改正案を固める。

子ども向け学習サイト 「ナマコンパーク」開設 全国生コン青年部協議会

全国生コン青年部協議会(林宗一会長)は、生コン産業のPR、社会貢献の一環として、子ども向けの生コンクリート学習サイト「ナマコンパーク」(http://www.zennama.or.jp/park/)を開設した。

ナマコンパークは、生コンメイン館、生コン工場館、アジトラ(トラックアジテータ)館の三つで構成。コンタ君とマナさんが、ナマコン博士の案内でそれぞれの館で生コンを学ぶという設定。

「真の日本のすまい」 提案競技の作品募集 住宅産業研修財団

住宅産業研修財団は、第4回目となる「真の日本のすまい」提案競技の応募作品を、11月20日から12月15日まで受け付ける。

募集資格は特になく、▽日本の伝統・文化の継承▽長持ち構造、容易な維持管理▽省エネ・資源有効活用▽防災・防犯に配慮などを基本理念に、日本の伝統技術と新時代の要請に応えた住まいづくりを提案してもらう。入賞作品の発表は19年2月26日。

表彰件数は、国土交通大臣賞、経済産業大臣賞、林野庁長官賞など計8点。資料請求用紙はホームページ(http://www.hic.or.jp/compete/)に掲載。

子どもの成育環境 テーマにシンポ 建築学会等

日本建築学会と子ども環境学会は、「子どもの成育環境を考えるー新しい視点ー」と題したシンポジウムを10月14日に、東京都港区の建築会館ホールで開く。旧日本建築学会創立120周年記念事業の一つ。

参加費は500円(送料代)を予定。申し込み、問い合わせは、日本建築学会普及事業部(☎03・3456・2056)まで。

携帯電話で水道設備を監視

明興テクノス

NTTドコモと新システム開発



画面上で水位状況等をチェック

画面で水位状況等をチェック。異常が発生した際は、管理者も状況を見ながら現場に駆けつけることができる。業務の合理化にもつながる。と、そのメリットを話す。既

「ACCESS 60」は、や流量、水質等の推移をモバイル機器として最も普及している携帯電話と、同社が運用する24時間体制の監視ネットワークシステム「TRUST」(トラスト)と、県内24自治体(色分けて状態確認)や異常箇所等を示す警報項目(水量、水位)を利用してウェブへアクセスする。利用者は、登録された電話番号と専用パスワードの組合せで、情報閲覧が許可される。台風の常襲地帯となっ

自治体も高い関心

「ACCESS 60」を、NTTドコモ九州と共同開発した。普及率90%を超える携帯電話に、ソフトを独自で開発。既に運用中の監視ネットワークシステムとの連携により、管理者はリアルタイムで設備の最新情報を知ることが可能となる。現在、試験運用中で年内の導入開始を目指す。

中心市街地活性化本部初会合

基本的な方針案が決定

政府の中心市街地活性化本部の初会合が5日に開かれ、中心市街地の活性化を図るための基本的な方針(案)が決定した。8日に閣議決定する予定。人口減少・少子高齢化社会を迎える中、高齢化にも暮らしやすいコンパクトな街づくりを目指す。今後、国の基本方針に基づき、市町村が

24時間体制の総合監視センター



同社は、同社が保有する水源地図情報システムなど、これまでさまざまな新システムと連携する技術開発を手掛けた。同社は、山ノ内社長は、「現場サイ

ドからの要望と長年培ってきた技術の集積を、現場化させた。基本計画の認定基準は、定量的な数値目標(人口、発行普通車数、事業所数など)、新しい分野への応用も図ってきた」と話している。

前9時から、鹿児島市の市立美術館内(西郷隆盛銅像)と、同市吉野町の西郷隆盛の家の2カ所を、水選選定ならびに清掃等の奉仕作業を実施する。問い合わせは、同センター(☎0993・52・2119)まで。

29日、機械取 扱い講習会

南さつま市シルバークセンター
バー人材センター
14日、奉仕活動
県道建設業協会
世田武裕会長は、14日午

ナカムラ
30日、安全大会
(例)ナカムラ(中村純治)は、30日午前10時から、鹿児島市の同社(株)会議室で18年度安全大会を開く。

都市部の地価上昇に
おける熱収支が、都
市化に伴う地表面の
改変(地面の舗装、
建築物など)により
都市部の気温が郊外
に比べて高くなる現
象をいう。これによ
り、夏期の都市の熱
不況(都市の快適性
の問題)▽夏期の過
熱(問題)▽夏期の過

都市部の地価上昇に
おける熱収支が、都
市化に伴う地表面の
改変(地面の舗装、
建築物など)により
都市部の気温が郊外
に比べて高くなる現
象をいう。これによ
り、夏期の都市の熱
不況(都市の快適性
の問題)▽夏期の過
熱(問題)▽夏期の過

入金金
大幅割引

建設業の詳しい情報は…
http://www.kc-news.co.jp
創刊50周年記念無料体験キャンペーン実施中!

業者格付・県・市町村予算
発注予定工事等々
情報は盛りだくさん
お問い合わせ：
099-222-6123